

連結貸借対照表 (H26.3.31 現在) 資産と負債の状況

貸借対照表は、住民サービスを提供するために保有している資産と、その資産の財源を示した表です。地方公共団体全体 (普通会計・特別会計) と連結後と比較すると、資産は 1.08 倍、負債は 1.23 倍、純資産は 1.03 倍になります。

資産の部				負債の部			
		地方公共団体	連結			地方公共団体	連結
公共資産	有形固定資産	61,481	65,834	固定負債	地方公共団体 (地方債)	5,633	11,660
	無形固定資産	0	1		関係団体 (借入金)	6,027	3,067
	売却可能資産	345	345		退職手当等引当金	1,859	2,110
投資等	投資及び出資金	21	14		その他	233	0
	貸付金	0	0	翌年度償還予定地方債	1,006	1,225	
	基金等	1,656	2,106	短期借入金	0	36	
流動資産	資金	1,634	1,772	その他	199	280	
	未収金	47	225	負債合計	14,957	18,378	
	繰延勘定	0	65	純資産の部			
資産合計		65,184	70,362	純資産合計	50,227	51,984	
				負債及び純資産合計	65,184	70,362	

連結純資産変動計算書 (H25.4.1 ~ H26.3.31) 資産増減の内訳

純資産変動計算書は、貸借対照表の「純資産」の部について、1年間の増減を表す計算書です。連結では、1年間で 645 百万円純資産が増加しました。

	地方公共団体	連結
期首純資産残高	49,627	51,339
純経常行政コスト	△ 8,580	△ 9,290
財源調達 (税・国都補助金等)	9,114	9,949
その他 (資産評価替えによる変動等)	66	△ 14
期末純資産残高	50,227	51,984

連結資金収支計算書 (H25.4.1 ~ H26.3.31) 資金増減の内訳

資金収支計算書は、貸借対照表に計上されている、「資金」の1年間の動きを表すものです。連結では、1年間で 301 百万円資金が増加しました。

	地方公共団体	連結
期首資金残高	1,368	1,471
当年度増減	266	295
経常的収支の部	1,399	1,504
支出 (人件費、物件費など)	9,785	12,121
収入 (税収、国都補助金など)	11,184	13,625
公共資産整備収支の部	△ 45	△ 99
支出 (公共資産整備)	877	1,871
収入 (国都補助金など)	832	1,772
投資・財務的収支の部	△ 1,088	△ 1,110
支出 (地方債償還額など)	1,376	1,539
収入 (国都補助金など)	288	429
経費負担割合変更に伴う差額		6
経常的収支の部	1,634	1,772

連結行政コスト計算書 (H25.4.1 ~ H26.3.31)  
 行政サービスを行なうためにどのくらいお金がかかっているのか?

行政コスト計算書は、資産形成に結びつかない行政サービスの経費 (経常行政コスト) と、その財源 (経常収益) を対比させた表です。地方公共団体全体と連結後と比較すると、純経常行政コストは 1.08 倍になります。

	地方公共団体	連結
経常行政コスト	11,195	13,717
人にかかるコスト 人件費、退職手当・賞与引当金繰入	1,571	2,271
物にかかるコスト 物件費、維持補修費、減価償却費	2,724	3,687
移転支的コスト 社会保障給付、他団体への補助金等	6,754	7,440
その他のコスト 地方債の支払利息等	146	319
経常収益 使用料・手数料等	2,615	4,427
純経常行政コスト (経常行政コスト - 経常収益)	8,580	9,290

## 日の出町連結財務書類（平成 25 年度決算概要版）

町が安定的な財政運営を行っていくには、地方債の借入などによる債務や、現在所有している資産の状況の把握、適正な管理を行うことが不可欠です。財務書類は、企業会計における発生主義、複式簿記の考え方を導入したもので、資産・債務の管理や、財政状況をわかりやすく公表するために作成する資料です。

### 連結財務書類とは・・・

町が実施している行政サービスは、一般会計（普通会計）以外にも、国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計や、関係団体と連携して行っている事業があります。連結財務書類は、地方公共団体と関係団体等をひとつの行政サービス実施主体としてとらえて作成するものです。連結にあたっては、各会計・団体などで作成された法定決算書を基礎として、必要な読替・修正などを行っています。

\*町の財務書類は、国から示されている「総務省方式改訂モデル」に基づき作成しています。

### 連結の対象範囲

#### 地方公共団体全体

普通会計

#### 公営事業会計

- ・国民健康保険事業
- ・下水道事業
- ・介護保険事業
- ・後期高齢者医療事業

#### 一部事務組合・広域連合

- ・市町村総合事務組合
- ・議員公務災害補償等組合
- ・秋川衛生組合
- ・西秋川衛生組合
- ・阿伎留病院企業団
- ・秋川流域斎場組合
- ・後期高齢者医療広域連合

#### 地方三公社

- ・日の出町土地開発公社

#### 地方独立行政法人

#### 第三セクターなど

- ・日の出町サービス総合センター

### 連結貸借対照表を、住民 1 人あたりにすると・・・

住民 1 人あたりにすると、資産 4,155 千円に対して、負債（将来の負担）が 1,085 千円、純資産（いままでに負担した額）が 3,070 千円です。

(単位：千円)

	地方公共団体	連結		地方公共団体	連結
資産合計	3,849	4,155	負債合計	883	1,085
			純資産合計	2,966	3,070

財務書類は、4つの表で構成されており、各表の概要と表の関係は次のとおりです。